

JAいけだ CREATION

今月号の表紙写真は、3月2日の青年部通常総会において選出されました、新役員・新支部長の皆さんです。
前列左より、十河孝行書記長、樋口圭洋副部長、永原和敏部長、市川豊副部長、甘利充会計。
後列左より、村中善共監事、横山将一支部長、大木勝彦支部長、高橋直人支部長、林雅嵩監事です。



CONTENTS

- * 総会特集
- * JA十勝池田町フェアを開催！ 中編
- * 「冬期講座」を開催！
- * 北海道緊急大集会開催
- * 21NEWS アラカルト

- * シリーズ 協同組合と報徳
- * 給油課より
- * 畜産部通信
- * 人事異動
- * 未来人

- * 農家の嫁さん
- * 農作業事故を防ごう！
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2015.

APRIL
4
No.064

総会特集

平成27年度 各生産組合・部会及び各外郭団体代表者名

農産部関係

玉ねぎ部会

部会長 小原秀樹

花卉生産組合

組合長 石澤 裕

ごぼう部会

部会長 前田真二

肉牛生産組合

組合長 納 登美男

青年部

部長 永原和敏^(新)

手芸サークル

会長 鈴木早苗^(新)

農協友の会

会長 鈴木昭子^(新)

年金友の会

会長 神谷充雄

畜産部関係

外郭団体

健康サークル

会長 林 真弓^(新)

ゆり根部会

部会長 窪田満穂

和牛生産組合

組合長 宮前裕治

女性部

部長 十河明美^(新)

農協友の会

会長 丹羽正彦

アスパラ部会

部会長 野上正英

あか牛部会

こだま会

年金友の会

会長 鈴木昭子^(新)

南瓜部会

部会長 島田伸一

黒牛部会

部会長 宮前裕治

酪農振興会

会長 川本一見

フレッシュユミズ

会長 寺井由佳^(新)

ボランティアサークル

会長 中西邦江^(新)

食品加工サークル

会長 松浦まさ子^(新)

もぎたて部会

会長 石澤恵美子^(新)

「はいぐれの会」

会長 塚谷明美

ネバリスター部会

部会長 湖澤達也

にんにく部会

部会長 守内 薫

ヤーコン部会

部会長 村中善一郎

会長川本一見

会長 塚谷明美

留字サークル

会長 松浦まさ子^(新)

もぎたて部会

会長 石澤恵美子^(新)

2月上旬から3月下旬にわたり、当農協関連団体の定期総会及び全体会議が終了致しました。

関連団体は農産部関係が5生産組合と8部会、畜産部関係が2生産組合2部会1振興会と、青年部、女性部関係、農協友の会、年金友の会、ボランティアグループ「はいぐれの会」、もぎたて部会で、紙面の都合上、代表者のみ名前掲載させて頂きます。
(敬称略)

青年部長挨拶



部長

永原和敏（新）

「」の度、第26回通常総会におきまして部長に選任されました。僕自身は器用でもなく、視野も広いタイプではないですが役員・部員の協力を得ながら、今年度の青年部活動をより充実させ、「一人ひとりのレベルアップ」に繋がるような一年にしたいと思つています。

昨年度まで継続して「ぬくぬく研修会」、親子体験型の食育事業、後継者対策事業に関しましては、今までの経験を大事に、より一層活気のある事業にしていきたいと思います。

また、組合長・農協職員との懇談会・交流会という場を大切にし、今まで同様、農業祭への参加など農協事業にも積極的に取り組みたいと考えています。

近年、変化をみせる農業情勢ですが、青年部も農業者として真剣

にして部長に選任されました。僕自身は器用でもなく、視野も広いタイプではないですが役員・部員の協力を得ながら、今年度の青年部活動をより充実させ、「一人ひとりのレベルアップ」に繋がるような一年にしたいと思つています。

に向かい、対応する力を身につけていきたいと思います。

最後になりますが、日頃より部員の事業への積極的参加はもとよ

り、「ご家族・農協・各関係機関の皆様の「理解・「協力により青年部活動が続けていく」と思いました。この場をお借りし、感謝いたします。

「」僭越ながら、今年度もより密接な「指導」「協力を、よろしくお願い申し上げます。

大変、不安と責任を感じておりますが、皆さんに助けて頂きながら自分の出来の範囲で、精一杯努めさせて頂きますので、宜しくお願い致します。

昨年は、日本経済における株価上昇や田安が進み、都市部経済の回復等、景気の回復が伝えられておりますが、燃油・飼料の高騰等、農家経営はもとより地域経済も厳しさを増すばかりです。

TPP交渉では、今後農畜産物分野の重要品目に関する詰めの作業が活性化するものとみられ、予断を許さない情勢であり農業・農協をめぐる環境は、かつてないほど困難な局面を迎えてます。

今まで同様、農業祭への参加など農協事業にも積極的に取り組みたいと考えています。

近年、変化をみせる農業情勢ですが、青年部も農業者として真剣

して、部長という大役を任されるようになりました。

が出来た事を地道に、一歩一歩前進していく事が大切だと思います。

本年度の女性部活動としまして、

夏期交流会・研修旅行・各種研修会・冬期しきなどを予定しています。また、食品加工サークルでは、自家野菜を使った料理作りを仲間と一緒にやっており、習字サークルも少人数ではありますが、地道な活動を続けています。

今年は、手芸サークルと健康サークルの2つが新しく増え、どちらのサークルも皆さんのが入をお待ちしております。

今後もより活発で、笑顔の溢れる女性部にしたいと思いますので、皆様の積極的な参加と、「協力・ご理解をお願い致します。

最後になりましたが、農協及び各種関係機関の皆様の「指導・ご協力を頂けますよう、宜しくお願ひ致します。

女性部長挨拶



部長

十河明美（新）



J A十勝池田町フェアを開催!

中編

市場動向や消費者ニーズの情報収集、農産物有利販売に向けた取り組み
消費地の販売意欲向上、生産者と消費者が一体となったPR活動の展開

店頭販売開催日	開催会場	参加者	店頭販売品目
2月21日	ゆめタウン広島店 (イズミ) (広島県広島市)	ネバリスター部会 中西邦江さん 八田都志枝さん	ネバリスター 馬鈴薯 玉ねぎ 豆類
2月21日	ヤオコー所沢北原店 (埼玉県所沢市)	食用馬鈴薯生産組合 吉地隆行さん	馬鈴薯 玉ねぎ
3月11日 13日	京王ストア桜ヶ丘店 (東京都多摩市)	営農部営農課 長井 勉 課長 農産部農産課 新沼二郎 課長 金融部金融共済課 穴澤美都恵 職員	ネバリスター 馬鈴薯 玉ねぎ

産地、消費地が一丸となった販売活動として取組んでいる店頭PR販売につきまして、先月号で前編をお届けさせていただきました。今月号では中編ということで、ゆめタウン広島(イズミ)、ヤオコー所沢北原店、京王ストア桜ヶ丘店でのフェアについてお届けいたします。

ゆめタウン広島店

ネバリスター部会 中西邦江さん・八田都志枝さん

ゆめタウン広島店でのJA十勝池田町フェアは、平成25年度に引き続き、2回目の開催となります。フェアの会場も2カ所に増設頂き、根張星や藏じこみ馬鈴薯(メークイン・男爵・ホッカイコガネ・シンシア・インカのめざめ)、玉葱、豆小袋各種というラインナップでPRして参りました。

ご参加いただいた2名の方からは、「自分達が生産した商品を、目の前で試食してもらい、美味しいわね。と言われる喜びを改めて実感した」「女性はどんどん外へ出していくべき、とっても良い経験になるのだから、全員が参加すべき」という感想を頂きました。



(左) 中西邦江さん (右) 八田都志枝さん

ヤオコー 所沢北原店

馬鈴薯生産組合 吉地 隆行さん

初開催となったヤオコーでのフェアは、開催の少し前に芋団子がTVで紹介されていたこともあり、芋団子・インカのめざめの試食が非常に好評でした。また、馬鈴薯は貯蔵を経て美味しさが増すということに、関心を持っていただけたお客様が沢山いらっしゃいました。青果担当バイヤーからは、馬鈴薯の品種に応じた一番おいしい食べ方をお客様に紹介したいという要望も頂いております。

馬鈴薯の他に、ヤオコーでは当JAの玉葱を生産者名・顔写真・品種名入りで販売して頂いており、食味にこだわった玉葱生産をしている玉葱部会活動の成果が表れています。

次回に向けた課題もありますが、消費地に熱意を届ける取組が今後も必要と感じました。



お客様に試食を勧める吉地さん

京王ストア桜ヶ丘店

営農課 長井課長、農産課 新沼課長、金融共済課 穴澤職員

「販売担当以外のJA職員がこうして、PRに来る産地は他に無い！ぜひ勉強していってください」という激励のお言葉をいただき、不安と緊張を胸に売り場に立ちましたが、試食を食べて「美味しいわね」というお言葉を頂くうちに、緊張もすぐに和らいでいきました。やはり、「美味しいもの」は食べた人も周りの人も幸せな気持ちにしてくれることを改めて実感しました。「まるごと十勝池田」のロゴが各商品（根張星・藏じこみ馬鈴薯（五品種）・玉葱）のシールに印字され、統一感を持たせた販売を行っています。根張星は初めて試食して、即購入して下さったお客様も多くおられました。既に知っているという方の中に「こればかり食べているのよ」「他の長芋はもう食べられないの」と根張星を懇意にして頂いているお客様も多く、嬉しい気持ちと同時に産地としての責任の重さを痛感しました。馬鈴薯は品種による使い分けの提案、メーカイン・インカのめざめの試食に対する評価も上々でした。



京王ストア桜ヶ丘店の店頭の様子

消費者と直接触れ合う貴重な体験を通じて得た経験を今後の営農活動、産地の盛り上がりに向けた取り組みへの活力としていきましょう。ご参加頂いた生産者の皆様、誠にありがとうございました。

3日間で、延べ116名が参加 20年ぶりに「冬期講座」を開催！

2月25～27日の3日間で、組合員・組合員家族を対象に、20年ぶりに「冬期講座」をJA本所・大会議室において開催し、3日間で延べ116名の方が参加しました。

この冬期講座は、組合員さんの研修場所として、興味を持って参加して貰えるよう、相続税対策や農畜産物の技術研修・農協改革など、様々な研修を企画し、1日の講演を午前・午後の2つに分け、3日間で計6個の講座を行いました。

25日（水）の午前中は、中西税理士を講師に迎え、今年1月からの税制改革により、相続税対策としての贈与や経営移譲に伴う税務についてを中心に講演が行われました。

午後からは、北海道指導農業士でJA標茶町女性部長でもある、千葉澄子氏から、「やりがいのある農業経営を目指して～まずはコミュニケーションから～」と題して講演頂きました。千葉氏が共同経営者として、経営改善に取り組んでいる実例として、家族・従業員との対話・ミーティングが大切であり、3年・5年・10年後の目標を持つことで、目標を達成させるために、「今、何をすべきか」を考えて、日々仕事・経営を行っていくことが大切だと、力強く講演されました。講演後は、名残り惜しいように女性の参加者の皆さんと、お話をされていました。

26日（木）の午前中は、十勝農業改良普及センター十勝東部支所・佐藤勝之次長から、畜産部門の経営研修として、「哺育のポイント・自給飼料の栄養価を高めて所得の向上に繋げる」や、地域振興として、10年後の池田農業を考える等、様々なテーマで講演して頂きました。

午後からは、十勝農業試験場生産システムグループ白井康裕主査による、営農計画のための経営分析をテーマに、営農計画の前に実績評価・優良経営に学ぶポイント、改善事例（営農計画の重要性）についての、お話を頂きました。

最終日27日（金）の午前中は、指導チームの岡本職員より、指導チームで行っている圃場試験の結果報告の後に、ホクサン㈱齋藤氏から、新規薬剤の試験結果や使用方法について説明がありました。

午後からの最終講座は、北海道大学太田原名誉教授に「農協改革と協同組合の自立」と題して、JAや連合会設立の背景と意義・JA改革のポイント・今後の協同組合が選択すべき道などについて講演して頂き、全日程が終了いたしました。

今回、講演して頂きました講師の方々や、参加された組合員さん、ありがとうございました。

（記事・営農部長 竜川正之）



女性の参加も多数でした



27日の太田原教授の講演

「TPPから命と暮らしを守ろう!」 北海道緊急大集会開催 ～TPP交渉の国会決議を守れ! 情報を開示せよ!～

3月22日（日）北海道内の各業界団体や市民団体主催により「TPPから命と暮らしを守ろう！北海道緊急大集会」が、札幌市民ホールにて開催されました。

今回の集会は、農業者及び農業団体だけでなく、消費者、医療団体や経済団体を含めた、「TPP問題を考える道民会議」「TPPを考える市民の会」が主催する緊急大集会です。

当JAからは、鈴木組合長、永原青年部長、十河女性部長の他、池田町農民同盟から鈴木・長尾両副委員長にも出席頂きました。

当日の札幌市民ホールは、約1,500名の出席者で埋め尽くされ、冒頭、本緊急集会実行委員会の飛田委員長（北海道中央会会长）の開会挨拶により開会され、その後連帯挨拶として、北海道消費者協会桑原副会長、北海道医師会長瀬会長からも挨拶がされました。

挨拶では、TPPが一体誰のための交渉なのか、また、交渉内容については、道民生活へ大きな影響を与える可能性があるにもかかわらず、その情報は開示されず国民的議論もないまま、交渉を進めてゆく政府に憤りを覚える。如何なる取り決めについても国民的合意のない交渉には断固反対の声を、オール北海道で政府に伝えて行かなければならないという力強いメッセージを頂きました。



参加された皆さん



その後、基調講演として「格差を生むTPPの正体」と題して、外交評論家孫先享氏より、TPPで最も恐ろしいのはISD条項であり、投資家や企業が受けた損害を当該国に対して直接請求することができ、米国企業は過去に何度も多額の賠償金を勝ち取っており、国の主権をも脅かす条項であることは明白である。また、食品添加物や遺伝子組み換え食品などの規制緩和により、日本の食の安全が脅かされ、医療保険の自由化・混合診療の解禁により、国民皆保険制度の圧迫や医療格差が広がることが考えられ、国民の食料や健康さえも他国に任せてしまうような、TPPには断固反対すべきであると、ご講演されました。

その後、私たちは合意のないTPP交渉内容については、如何なる取り決めにも反対することを、政府に対して以下の項目について必ず実現するよう強く要請すると共に、広く国民に訴えるため、以下の2項目について、大会出席者全員で決議しました。

**集会
決議**

1. 北海道の将来に禍根を残さぬよう、交渉に関する情報を開示すると共に、十分な国民的議論を行うこと。
2. 衆参両院の農林水産委員会における国会決議を順守し、北海道の産業と北海道民の暮らしを守ること。

集会の最後には、【TPP交渉の国会決議を守れ！情報を開示せよ！】というプラカードを全員で掲げ集会の最後を盛り上げました。

（記事・常務 大塚 節）

青年部

女性交流会

2月14日、札幌市にて池田農協単独開催の女性交流会が行われました。例年であれば帯広で開催していたのですが、マンネリ化解消、男性陣の奮起を促す意味も含め札幌開催に踏み切りました。札幌開催ということで、場所確保や女性を集めることの不安がありましたので、今回は婚活イベントの企画・主催を行っている「GENIXY（ジェニクシー）」様にお願いし、会場設営、参加者の確保、当日の司会進行までお任せする形となりました。

当日はバレンタインということもあり、街の中も特別な雰囲気であったようにも思えました。開始前には簡単なセミナーを行い、女性の入場後開始となりました。会場はテレビ塔2階のイベントホールで夜景の見える会場でした。乾杯は十勝ワインのスパークリングワイン「ブルーム」で行われました。残念ながら、事務局として参加した4名は会場から退出となってしまったので会場の雰囲気はわかりませんでしたが、皆の顔を見る限りは帯広開催よりは手ごたえがあったと思われます。

2次会での乾杯は十勝ワイン「清見」。いけだ牛も持ち込ませていただいて、会場で調理していただきました。2次会では、あらかじめ数奇術を使い相性のいい組み合わせの席が用意されました。希望者には色を使った相性占いなど、女性目線でも楽しめる内容となっていました。2次会終了後、カップル成立となった組にはすすきのにある、ノルベサの観覧車チケットが渡され、その後につながる有意義な時間を過ごせていたと思います。

今回、いい意味で事務局の予想を裏切る数のカップルが成立しました。池田に帰ってきてからも連絡を交わし、その後の計画を立てているカップルもいるとの話を聞いています。今後も、今回の反省を生かして、いろんな方のご協力等をいただきながら婚活に対しての企画を練っていきたいと思います。

（記事・青年部監事 林 雅高）



交流会の様子



左から大熊理事長、萬部長、十河部長

女性部

トイレットロール寄贈

女性部では3月17日に特別養護老人ホーム池田光寿苑へトイレットロールの寄贈を行いました。この寄贈はJA十勝女性協の事業の一環で、回収した紙パックを紙業メーカーへ売却し、その益金によりトイレットロールを購入しています。当日は当農協女性部長の十河明美さんと、高島農協女性部長の萬貴美恵さんで伺い寄贈してきました。

女性部では、今年度もこの事業を続けていきますので、紙パックの回収にご協力をお願い致します。

（記事・営農部営農課 遠藤由梨）

農産課

福白金時契約栽培研修会 及び交流会を開催

3月4日、福白金時契約栽培のお取引先である株式会社虎屋をお招きし、研修会及び交流会を開催致しました。

当日は飛行機に欠航や遅れが発生するほどの天候不良ではありましたが、福白金時生産者、27年産からの作付けを検討されている方を中心に20名程の参加を頂きました。

研修会ではこれまでの福白金時栽培で得られた情報や十勝農業試験場中川研究員を講師に平成26年度にJAと試験場で連携して行った生育調査結果、播種時期試験結果を報告致しました。株式会社虎屋資材部星野課長からは豆の品種毎の美味しさの評価をご報告頂き、「产地と消費地の顔の見える関係が美味しさに繋がる」と締めくくられました。

研修会終了後に開催された交流会では、来賓に勝井町長をお招きし、福白金時の最大規模の供給地である当JAがこれからも更に研鑽を重ね、安定供給に努めていこうと決意も新たにしました。

ビートの育苗作業が始まるお忙しい時期ではありましたが、多くの生産者の皆様にご参加頂き、誠に有難うございました。

(記事・農産部農産課 岡本富之)



研修会の様子



青年部

第26回 通常総会

3月2日（月）に、農協本所・大会議室において第26回通常総会を行いました。参加者は全部員52名中52名（うち委任状4名を含む）でした。

今年も大勢の部員に参加をしていました中、今年度行った青年部の事業

や収支決算の報告、規約の一部改正、青年部広報の配布、役員改選などを行いました。

役員改選では、部長の山内拓也氏（青山地区）が退任となり、副部長の永原和敏氏（清見地区）が新部長となりました。

今年は8名の退部者がおりましたが、新部員で3名が加入し、総勢47名となり昨年に比べ5名減少となりましたが、今年度も永原新部長を中心に部員間の交流、研修会や食育事業、農業祭での出店など積極的に活動を行っていきたいと思います。

通常総会の後には、味の香味屋にて懇親会があり、新部員の自己紹介、退部者への今までお世話になった感謝と苦労をねぎらい、とても楽しい宴となりました。

(記事・青年部前副部長 中村俊夫)

青 年 部

全道JA青年部長研修会

1月28日から29日にかけて、ホテルモントレ札幌において平成26年度全道JA青年部長研修会が開催されました。この研修会は、「JA青年部長・副部長（次期部長候補）を対象として、リーダーとしての資質の向上や円滑な組織運営の手法を取得すること」で、関係機関の協力を得て開催されました。また、情報交換の場を提供し、問題意識等の共有を図ることも目的とされています。

28日、午後1時から研修が始まり、午後6時からは情報交換会、翌日は午後1時30分まで研修が行われました。研修は、コミュニケーションや青年組織におけるリーダーシップについてなど、部長や役員を担当するに当たり能力の向上が見込める内容になっていました。

全道各地から様々な盟友が参加し、色々な話ができることで自分の視野が広がったと思います。研修で身につけた事を単組活動に生かせるようこれからも精進していきたいと思います。
(記事・青年部部長 永原和敏)

(記事・青年部部長 永原和敏)

**農業－こそが
経済の基礎**

およや物のうかで根元となりてこるものせ、必ず卑しいもの。卑しことつて根元を鑑視するのでは思つて、家屋でも、土台が家のもとなのであります。ところによれば、此が国の元だとこの証拠になります。その底のいふらうな職業のうかで、農業がまた元になつま。なぜかといふべば、田の作つて食べ、みずから織つて着

るところ道に勤めているか
いども。この道は、全国民
が「J」と「J」と「J」に従事し
てもやれりつかえなこむので、
このふうの大本のわざが卑し
いとされたのは、根元であ
るからぢやね。

「…してみれば、農業がすべての職業の大本であることはおきらかで、すべての民が従事して差し支えあるものを末業として、さしつかえないものを本業となります。

国民すべてが一様に從事して差し支えない仕事 *じぶん*、大本なのであって、全国民が公務員になつたら、決して立ち行くはずがなく、欠かすことのできない職業だけれども、全国が工業では決して立ち行かない。商業でも同じことです。といふのが農業は大本なのだから、全國民がみんな農業になつ

ても、さしつかえなく立ち
行いだれつと説いてしまお。

」のとおり、農業は根本であるから、厚く養わなければならぬ、根本を養えれば、枝葉が自然と繁ること疑いはありません。枝葉とて、みだりに折つてよいものでないが、根本が衰えた時は、枝葉を切り捨てて根本を肥やすのが培養のやりかたです。「農業」こそが経済の基礎」です。

北海道報徳社
報徳生活読本より)



シリーズ 協同組合と報徳

No.7

給油課より

ホクレン利別セルフ給油所
春のキャンペーン実施中!

その1 やるなら今がいいじゃないの♪

オイル交換キャンペーン!

実施期間 4月1日(水)~5月31日(日)

アロック会員価格より

1,000円引き!!

その2 この機会にGET!

夏タイヤ販売中!



軽自動車はじめ乗用からトラクターまで
「お勧めタイヤ」・「低燃費タイヤ」を
お手頃価格でご提供!!



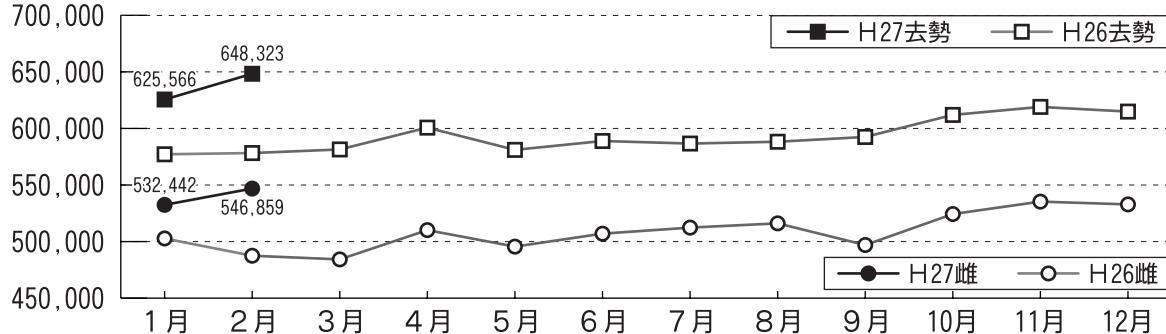
期間中なら、財布の中にも、
エコなんだから♪



畜産部通信

畜産部
畜産課

平成26~27年ホクレン十勝家畜市場黒毛素牛平均価格(十勝)



2月黒毛素牛出荷区分別成績

【金額(円)】

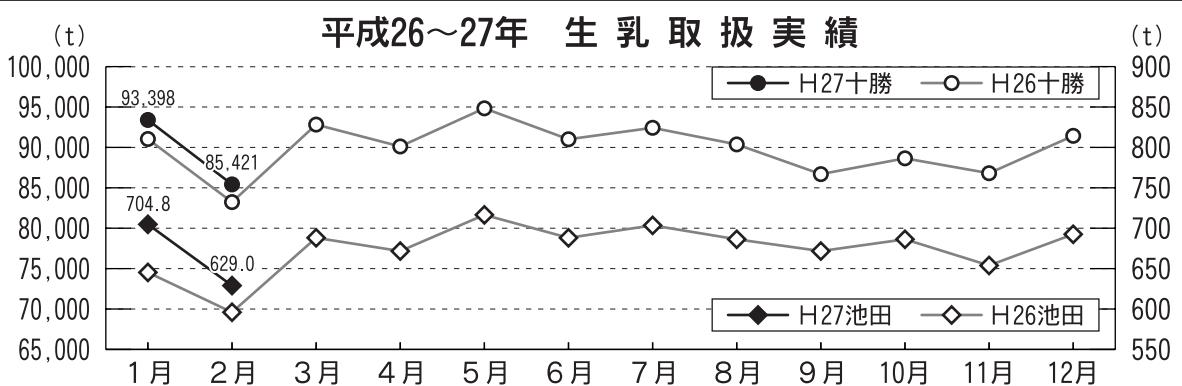
		取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	+勝	和牛素牛	658	648,323
	池田	マニュアル参加牛	430	653,237
		マニュアル認定牛	62	697,123
雌	+勝	和牛素牛	51	667,779
	池田	マニュアル参加牛	44	668,815
		マニュアル認定牛	6	729,000
去勢	+勝	和牛素牛	493	546,859
	池田	マニュアル参加牛	306	549,809
		マニュアル認定牛	21	631,389
雌	+勝	和牛素牛	30	558,792
	池田	マニュアル参加牛	28	562,140
		マニュアル認定牛	0	—

2月ホクレン十勝枝肉市場 【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
7日	黒毛去勢	A-5	2,235
		A-4	2,143
		A-3	1,978
7日	黒毛メス	A-5	2,256
		A-4	2,130
		A-3	1,926
F1去勢		B-3	1,328
		B-2	1,273
	F1メス	B-3	1,380
		B-2	1,271



平成26~27年 生乳取扱実績



2月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
2日	乳牛育成	416	338,071
4日	乳牛初妊	389	577,947
	乳牛経産	69	351,438
18日	乳牛初妊	559	578,492
	乳牛経産	166	375,624

2月十勝中央家畜市場 【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	51,270
F1オス初生	161,443
F1メス初生	102,942
廃用牛	183,932

人事異動

平成27年3月1日付

() 内は前職

- 【異 動】**
- 営農部長 (営農部次長) 竜川正之
 - 購買部生活課 (営農部長) 川村雅貴

平成27年4月1日付

() 内は前職

- 【異 動】**
- 購買部長兼購買部生活課長 (購買部生活課) 川村雅貴
 - 農産部次長 (農産部農産課長) 新沼二郎
 - 購買部生産資材課長 (購買部生産資材課) 今井敬貴
 - 農産部施設課技術課長 (農産部施設課長) 松久充
 - 農産部施設課長 (購買部生産資材課長) 遠藤泰志
 - 管理部管理課長兼融資審査課 (農産部農産課) 岡本富之
 - 金融部金融共済課長 (金融部金融共済課) 石丸稔
 - 農産部農産課長 (管理部管理課長兼融資審査課) 秋野健太
 - 金融部金融共済課 (金融部金融共済課長) 山久保栄治
 - 購買部給油課 (購買部生産資材課) 鈴木則宏
 - 購買部生産資材課 (購買部給油課) 緑川強
 - 金融部池田支所 (管理部管理課) 坂東里奈
 - 金融部金融共済課 (金融部池田支所) 赤石なつみ

【新採用】 ※新採用職員の所属部署につきましては、研修期間終了後に決定いたします。

※また、新採用職員の紹介につきましては、次号掲載いたします。

- 桜井綾之 ● 岡田雄貴 ● 杉山淳史
- 青木瑠衣 ● 松山涼 ● 松浦萌

平成27年3月31日付

- 【退 職】**
- 購買部長兼購買部生活課長 藤山春雄
 - 金融部池田支所 新沼真美



青山2地区 山内道沿さん

就 農業当時から、一通りの作業を行つたが、「トラクターなどの機械に関しては、部品を壊したり、力ルチで作物を消しちゃったり。何回も同じ失敗をして怒られた事もあります」と、苦笑いの道治さん。

「両親は継がなくとも良い」と云つていたが、農家以外の職業は、どこの家に生まれても大抵出来るけど、農家をやるには農家に生まれないと職業にする事は難しい。だからこそ継ぐつと思つた」と詰す。

農家に生まれたのだから、農家をやりたいと思つた。と話してくれたのは、平成23年度に青年部・副部長を務めた山内道治さん。帯広農業高校を卒業後、両親の勧めもあり酪農学園大学に進学。卒業と同時に就農し、今年で15年目。

高校時代には馬術、大学時代にはアーチェリーと、池田で出来ない事をやりたかつたと、好奇心旺盛な一面もみせる道治さん。平成23年度には青年部の副部長を務め、「自分が副部長の時も大変だったけれど、今の方が大変じゃないかと思う。それでも、後輩達の頑張りもあって、より

ング（作業）の“ズレ”が、全部の“ズレ”になる」と話し、作業計画は父・孝一さんと相談するという。

「天気予報を見ながら、その時その時の作物の生育状況などを見計らって、作業計画を立てる事が大変です。限られた労働力の中で適期作業が出来るよう、天気予報が悪ければ「損」をしない一番の方法を選んで、作業を行わなければいけないので、タイミングと判断が大切だと思います」と言い、「一つのタイミ

今 後の目標を聞くと、
「今年は馬鈴薯のイン
カのための作付を増やす
ので、それをモノにする事
と、新しい物も何かあれば
とは思うが、まずは求めら
れている物を、きちんと作
る。"裏切らないものを作
る"事が大切だと思つ。労
働バランスなどを考えなが
ら、當農していきたい」と、
真剣な眼差しで語ってくれ
た。

活動が充実してきていたのを
思います」と話す。

Vol. 10

未来人

Mirai Bito

プロフィール

家族は道治さん、妻・真弓さん、長男・唯楨くん、
長女・香凜ちゃん、次女・愛莉ちゃん、父・孝一さ
ん、母・幸江さん、祖母・ヤエさんの8人家族で烟
作を営む。

帯広農業高校から酪農学園大学に進学し、卒業と同時に就農。今年で就農15年目。

平成23年度に当JA青年部の副部長を務めた。





断捨離に
ハマっています！



豊田1地区
わか ばやし やよい
若林 弥生さん
(35歳)

家
族
構
成

- 夫 達也さん (37歳)
- 義父 直樹さん (68歳)
- 義母 くにえさん (61歳)
- 義祖母 トシ子さん (92歳)

- Q 出身地は？
A 幕別町です。
- Q 池田町に来てどう思いましたか？
A 育った町と同じく、静かな町でホツとしました。
- Q 趣味・特技・マイブームは？
A 断捨離にはまっています！クローゼットがすっきりして嬉しいです！
- Q 旦那さんとの出逢いは？
A 夫の妹と友達で、家に遊びに行つた時に出会いました。
- Q 結婚する前は何をしていましたか？
A ずっと介護職をしていて、結婚前は池田町で3年ほどホームヘルパーをしていました。
- Q 農家の嫁になる事に不安はありましたか？
A 体力に自信がなく、自分に出来る事があるのが不安でした。
- Q 農家に嫁いで良かった事は？
A 新鮮な野菜が食べられる事と、夫の働く姿が見られる事です。
- Q フレッシュユミズに入って活動してみて、どんな所が良いですか？
A みんな明るく気さくなので、色々な話が出来て楽しいです。
- Q これから抱負を一言！
A 1つでも出来る仕事を見つけて、役に立てるよう努力したいです。



理事会の動き

第13回

〈平成27年3月30日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入・資格変更について
- (2) 余裕金運用状況報告書並びに保有目的区分について
- (3) 共計品の精算について
- (4) 内部審査及び内部監査報告について
- (5) コンプライアンス事故報告及び改善策について
- (6) 職員の懲戒処分について
- (7) 「JAバンク基本方針」の変更について
- (8) 職員の人事異動について

★ 議案 ★

- (1) 北海道農業公社貸付牛事業の実施と転貸について
- (2) 規約の一部変更について
- (3) 信用事業規定の一部変更について
- (4) 建設工事規程の一部改正について
- (5) 税効果積立金の取崩しについて
- (6) 資産自己査定の結果について
- (7) 決算監査結果の報告について
- (8) 第26回通常総会の招集及び付議すべき議案並びに総会参考資料について
- (9) 第26回通常総会の議決権行使書面の取扱について
- (10) 決算書類（平成26年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表）及び部門別損益計算書の承認について
- (11) 農畜産物高品質多収穫共励会表彰及び職員永年勤続表彰について
- (12) 道常例検査指摘事項に対する改善状況等の報告について
- (13) 地区懇談会の開催について
- (14) 特定組合員の営農計画及び組勘限度の設定について

農作業事故を防ごう！



4月を迎えました。関東地方では桜も開花したそうですね。十勝の桜が、もう少し先かなくとは思います。春を迎える池田農協にも新入職員として6名が仲間入りしました。これから組合員の皆さんに、お会いする機会があるかと思いますが、よろしくお願い致します。

いよいよ、農作業も本番となります。機械整備・作業時には、服装は機械などに引っかかる部分がないか、周囲に人や障害物がないかなど、チェックをしながら農作業を行って頂けますよう、よろしくお願い致します。

(E)

編
集
後
記